

令和2年度 第2回 米子市児童文化センター運営委員会 発言要旨

1. 安全管理について

(委員)

アンケートの結果に、施設の安全管理について「不満」という回答が2件ある。安全管理は重要と考えるが、具体的な内容を把握しているか。コロナ禍のため、感染対策等に関する意見も考えられる。施設で使用した道具や、よく触れるドアノブ等の消毒など、感染対策には注意を払って対応してもらいたい。

(事務局)

このアンケート回答については、具体的な理由の記載がなかったので不満とされた理由は分からない。他のアンケートではおもちゃが古いという意見があったので、木のおもちゃ等の洗浄を順次石鹸で行った。新型コロナウイルス感染症対策については、今後必要な対策を実施していく。

2. 事業の申込み及び問合せ方法について

(委員)

アンケートの結果に、問合せ先として電話番号しか記載がないという意見がある。今の時代、申込フォームなどあってもよいと思われる。

定員を設けている事業の申込みの際、電話受付は先着順となっており、仕事を持っている親は対応が難しい。各種ツールを使って、申込状況などが情報提供できるよう運用してはどうか。

(事務局)

メールアドレスはホームページに掲載しており、問合せをいただくよう案内している。現在、事業の申込みは電話および往復ハガキで行っている。米子市文化財団が管理する他の文化施設もメールでの受付を実施しておらず、システム導入に係る経費もあるため、他の施設とともに運用方法について今後検討してまいりたい。

3. 主催事業について

(委員)

子育て支援事業に、専門職（保健師や管理栄養士）の意見を聞ける場を設けてはどうか。適格な情報を提供し、乳幼児から小学生になっても利用できる施設となしてほしい。

社会教育に関する研修会により多く参加し、外部との連携等、事業展開に関する基礎知識を身につけてもらいたい。

(事務局)

職員研修については重要性を認識している。家庭教育や社会教育の研修会に、リモート等も含めて機会をとらえて職員を参加させたい。

また、現在の子どもたちをとりまく環境の変化やその課題について、米子市と文化財団が情報を共有し、一体となって事業を検討していきたい。